

入賞・秀作展覧会

令和3年(2021)2月20日(土)～3月7日(日) [会期中無休]

9:00～17:00 (入館は16:30まで)

尾道市立美術館

入館料／一般310円、高大生210円、中学生以下無料 [前売は各100円引]

前売券販売所／啓文社各店、JR尾道駅前観光案内所

■70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料

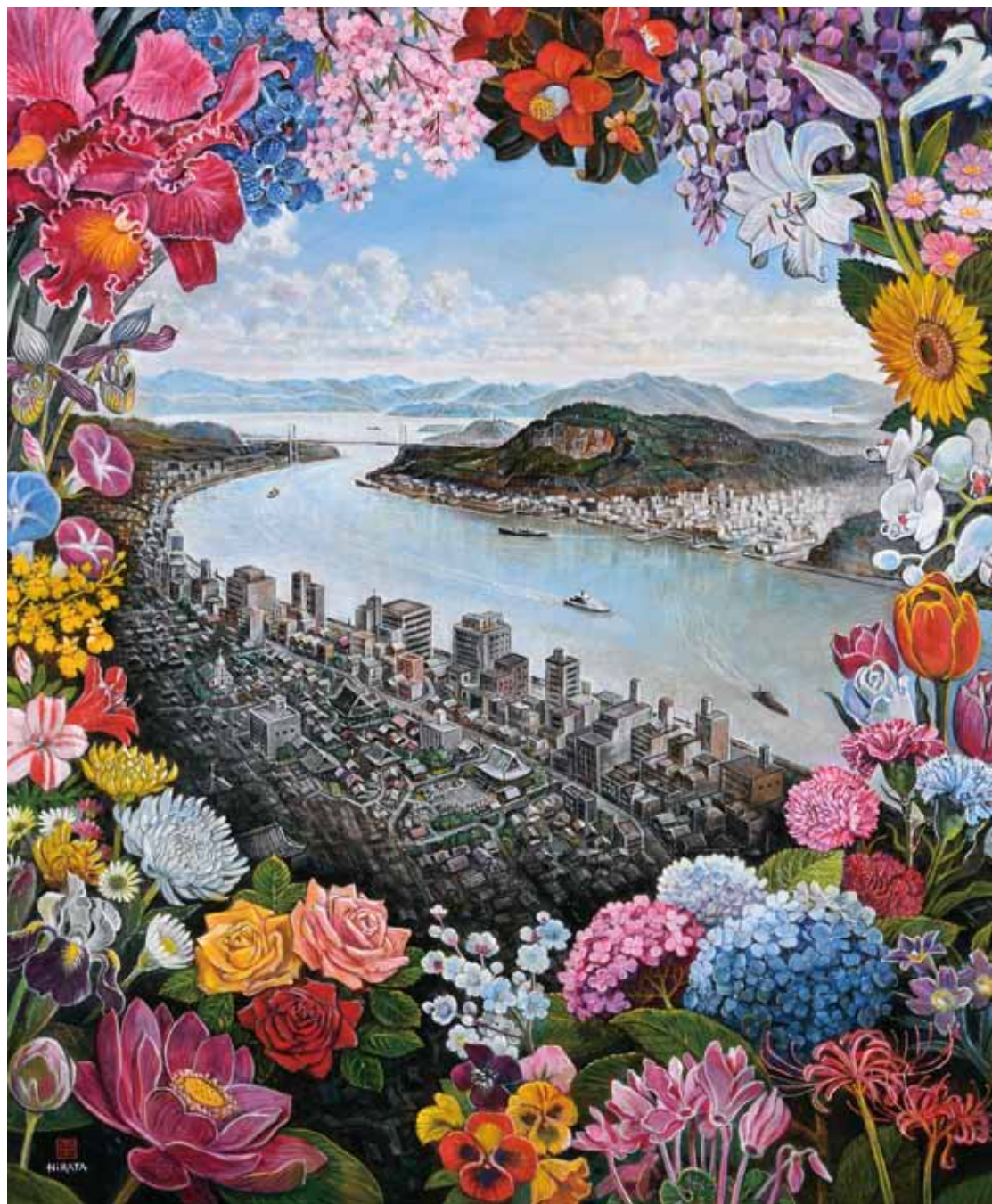
入選作品展示

令和3年(2021)2月20日(土)～3月7日(日)

市内本通り商店街ほか

展示場所を示したマップを尾道市立美術館・観光案内所等で配布しています。

※店休日は各店舗によります。事前にお問い合わせください。



尾道賞【グランプリ】平田良雄「花の尾道」

〈主催〉絵のまち尾道四季展運営委員会

〈共催〉尾道市、尾道市教育委員会、尾道市立美術館、尾道商工会議所、尾道観光協会

〈後援〉NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、ちゅピCOMおのみち、中国新聞備後本社
広島エフエム放送、尾道エフエム放送、エフエムふくやま

〈協賛〉尾道銀行倶楽部、日東電工(株)尾道事業所、日立造船㈱向島工場、広島ガス(株)尾道支店、プレス工業(株)尾道工場
丸善製薬(株)

第19回 絵のまち尾道四季展

The 19th Paintings Exhibition and Contest of Picturesque Onomichi in 4 Seasons.



優秀賞 家近健二「尾道で拾った風景」



優秀賞 小林隆之「尾道遠望(初夏の風)」



優秀賞 小川公久「Composition <坐・尾道>」

中世以来、商港都として発展してきた尾道には、かつて、文人墨客が来訪し、その足跡を留めてきたように、今も独自の美しい景観と風情を求めて、多くの画家が訪れます。

「絵のまち尾道四季展」は、昭和58年(1983)に始まった「第1回展」以来、隔年開催を続け、今回で「第19回展」を迎えます。この展覧会には、全国39都道府県から406人、491点もの、様々な角度から新しい尾道の美を見出そうとした素晴らしい作品が寄せられました。

本展覧会では、尾道賞[グランプリ]をはじめ、入賞・秀作作品は尾道市立美術館に、入選作品は市内商店街などに展示しています。

どうぞこの機会に、尾道のまち歩きと併せて美術作品鑑賞をゆっくりとお楽しみください。



小林和作賞 植松誉「尾道夕景《千光寺からの眺望》」

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。
なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

第19回絵のまち尾道四季展

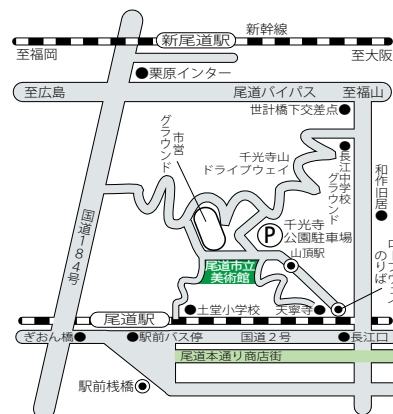
The 19th Paintings Exhibition
and Contest of Picturesque
Onomichi in 4 Seasons.



優秀賞 田渕典子「ああ、尾道」



優秀賞 国光美津恵「夕刻のカフェ」



尾道市立美術館

●問い合わせ先

絵のまち尾道四季展運営委員会事務局

〒722-0032 広島県尾道市西土堂町 17-19 尾道市立美術館内

TEL. (0848) 23-2281 FAX. (0848) 20-1682

<https://onomichi-museum.jp/competition/2.html>

次回展覧会予告

【特別展】

愛のヴィクトリアン・ジュエリー展

令和3年(2021)3月13日(土)～5月5日(水・祝)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料:一般800円、高大生550円、中学生以下無料

[前売は各200円引]



《ピンクトパーズ&カラー
ゴールドスウィート》
1830年ごろイギリス